

乃木坂スクール 公開型ゼミ

コロナ禍、死を覚悟して静岡より参上！

ヤンキーが新しい福祉を創出して、
静岡県知事表彰を受けるまで！

通所介護事業・ボランティア活動

憩の家 みち

家長 石津道弘

石津道弘

昭和46年12月29日生まれ ○型

本籍：東京都品川区戸越

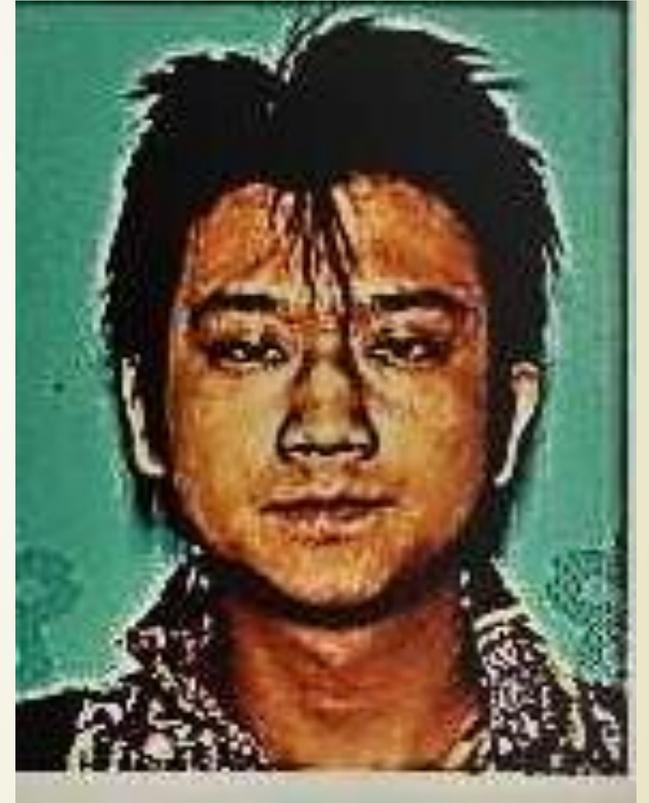
埼玉県春日部市武里団地育ち

父：政男。東京都交通局職員（山口県萩市出身）

母：トヨコ。小原流いけばな教授（大分県竹田市出身）

兄：泰史。真言宗僧侶（元ホスト、元プロレスラー）

石津家の次男として育つ。図工と体育は優秀、それ以外は劣等生。机の中には腐ったパン。中学校3年位から、弱いくせにツッパルことを覚える。高校は3度の謹慎、1度の停学は喰らうも無事卒業。その後、土方業、水商売、怪しい仕事などして過ごし、酒と女、薬とロックに溺れる。19歳の時、不慮の事故を起こし、頭部手術。その後、反省するどころか遊びほうけ、25歳、母が癌になったことをきっかけに福祉の道へ。

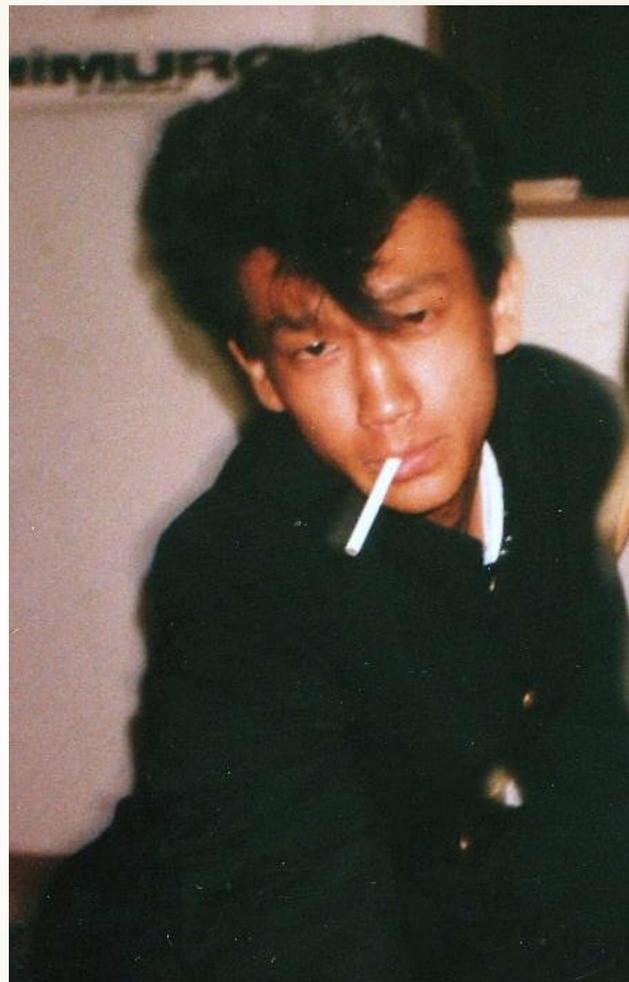
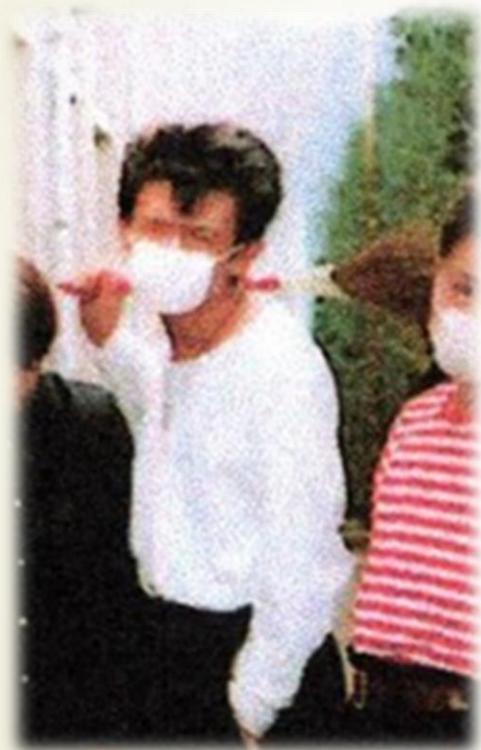


親の愛、たっぷりに育まれました。

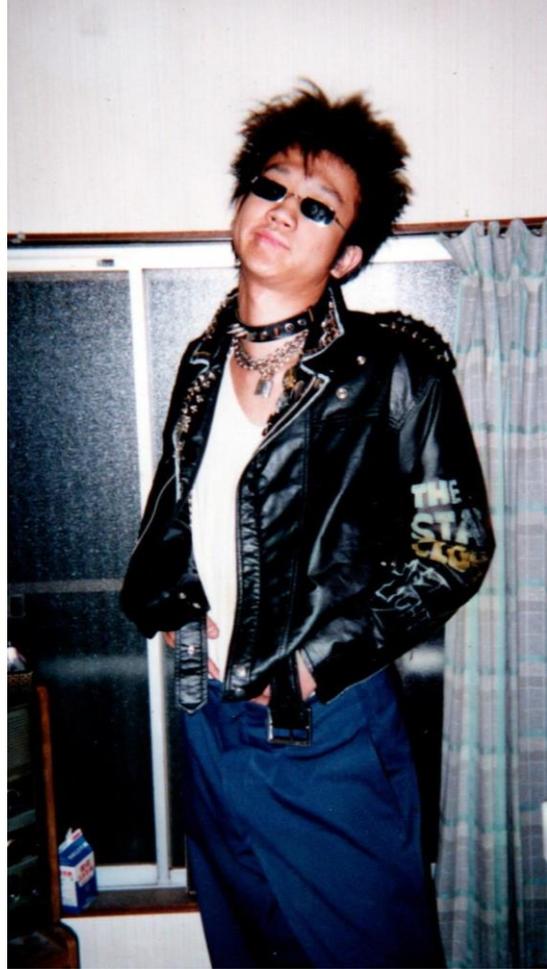
- ▶ 小さい頃から甘えん坊だった。お父さんは厳しかった。でも、男の生き方をちゃんと教えてくれた。お母さんは、すごく優しくかった。でも、優しさだけでは生きれないこともちゃんと教えてくれた。
- ▶ 貧しかったけど、お父さん、お母さん、お兄ちゃんと一緒にいる空間が幸せだった。
- ▶ 当たり前前の幸せの原点は、この小さな団地だった。



弱いくせに調子に乗った
学生時代。



当時からコロナを意識。マスク着用（笑）コンビニでウイスキーを盗み、友達の家で馬鹿呑みしてた。



定職も就かんと、水商売、闇仕事、パンクロックに明け暮れた。

- ▶ いつも周りばかり見ていた。大人が嫌いで、権力者に対する反発の思いが強かった。有り余ったパワーがあった。パンクロックにのめり込み、酒に薬に、暴れ狂った。
- ▶ 上野警察署にて窃盗での取り調べ、パトカーのボンネットに乗って記念撮影、路上生活者との楽しい飲み会。でも、その経験が今に生きていることは間違いない。

上野駅地下道の隅で、拾ったシケモクと共に酒をよく飲んだ。でも、あの通るサラリーマンの冷めた目、それだけは忘れない。

19歳で大事故 生死をさ迷った。

それでも、生活を改めることはなく、親のすねをかじって過ごす。途中、外国語の専門学校へ通いながら夜の街へのめり込む。その後は、飛び込み専門の営業マン、水商売、土方、浅草では裏社会を学んだ。

自分がどうしたらいいか、何がしたいのかわからなかった。夢も希望もない25歳のフリーターだった。

そして母の癌。死の現実。

自分を見つめ直すきっかけになった。15歳から吸ったタバコを、親父と一緒に止めた。お百度参りもした。



「よしっ、次は俺の番だ！」もう、選択肢はなかった！

- ▶ ふっと思い出した。「あんたは優しいから、福祉の仕事にむいてるよ」とお袋が言ったことを。
- ▶ 「田舎への憧れ」から、静岡だけでなく、茨城、千葉、山梨など、県の福祉人材センターを訪問した。とにかく、知らない環境の中、ゼロからスタートをしたかった。
- ▶ 空白だらけの履歴書を100通以上、福祉関係の施設へ郵送しまくった。でも、ほとんどの施設からは、資格がない、学歴がないと相手にされなかった。
- ▶ そしてようやく、26歳の時、静岡県社会福祉人材センターの方が、「あんたは若い頃の石原裕次郎に似てる」とおだてられ、浜松のデイサービスのパート運転手として決まった。給料10万。

いざ、見知らぬ静岡へ



初めての介護、福祉。希望、そして壁。

26歳パート運転手から、翌年は介護職員へ。資格の壁を知り、翌年から通信教育で福祉大学へ通う。31歳で社会福祉士、32歳で介護福祉士、33歳で介護支援専門員を取得。でも、「こんなもので福祉ができるか！」と破いて捨ててしまう。

措置制度？介護保険？全てが新鮮だった。だから、すごく楽しかった！

- ▶ デイ運転手が給料日に石焼き芋をバス乗車中にプレゼント事件。
- ▶ デイ利用者と一緒にお祭りに行って酒を飲み、大騒ぎ事件。
- ▶ デイの送迎バスをデザイン専門学生とコラボして塗り替えてしまう事件。
- ▶ 小原流いけばなの先生とコラボして、浜松初、デイフロアで花展を開催。
- ▶ 浜松市内で初、ショートステイ連絡会を組織。（今は知りません）
- ▶ デイ運転手から、介護職員、相談員、法人内の係長と出世。

でも、偉い人はお金のことばかり。介護も機械的。「何か違う」と思い退職。

34歳で裾野市社会福祉協議会に就職。在宅介護支援センターの相談員として配属。ただ、社協という異質空間に馴染めず、たった1年で退職。その後、高校の福祉教育の非常勤講師として働きながら、また迷走の時が続く・・・。

福祉って一体何 だろう？

- ▶ 社会福祉法人も医療法人も、みんなお金のことばかり。社協は行政の天下りばかり。介護職は利用者でなく職員間の人間関係で悩み、看護職は専門性を盾に言いたいことを言う。みんな自分のことばかりだった。
- ▶ 福祉って一体なんだ？理想の福祉とはなんだ？その答えが知りたかった。わからないけれど、走り出すしかなかった。
- ▶ 実体験から、「資格より品格だ。専門性より人間性」だと強く感じ、もっと自分の理想の福祉を追求したい！



2005年「生活支援ボランティア 道」を設立 難病患者さんの外出支援を中心に活動

- ▶ 焼津市のMさん。この人との出会いがあって、自分も何かしなければと強く感じるようになった。
- ▶ 「私は蚊の一匹も殺せない。ただの人形なんですよ」と言った衝撃は忘れない。
- ▶ 「本当に強い人」とは、死を乗り越えてもなお、精一杯生きようとする人のことだと、実感した。



でも、理想はあっても現実問題、ボランティアでは飯は喰えなかった。

平成18年10月 法人化を取得 憩の家 みち スタート

- ▶ 静岡県牧之原市勝田816-3-2 0458-28-0223
- ▶ 通所介護事業所・ボランティア活動
- ▶ 月曜日～日曜日、毎日営業（12/31と1/1は基本休みだが、利用者宅へ訪問する）
- ▶ 早朝夕食後の送りもボランティアで対応、原則宿泊はなし。
- ▶ スタッフ 19名（男性3名、女性16名）
- ▶ 登録利用者 57名（下は8か月、上は98歳）（男女比 6：4）

借金して中古住宅を購入。でも、すぐ上の古びたプレハブに、元住人が住んでいるという異様な感じ。でも、そのお婆ちゃんもその息子さんも、その後は、うちに来て、最期まで看取った。もちろん、お金なんて一切もらってない。なぜなら、この人達の気持ちを考えたら・・・それはできなかった。

これまでの主な活動実績

平成18年4月	生活支援ボランティア「道」を設立 難病患者の外出支援開始
平成19年3月	通所介護事業所 憩の家みち 開始
平成20年5月	絵本作家、さとうわきこ先生より絵の提供を受ける
平成21年5月	社団法人「小さな親切」運動として表彰を受ける
平成22年10月	「福祉道」商標登録を受ける
平成24年9月	病院までの送迎ボランティア、車椅子車両の無料貸し出しを始める
平成28年2月	ふじのくに型福祉サービス（居場所）として認定を受ける
平成30年2月	「牧之原市社会福祉功労事業所」として表彰を受ける
平成30年5月	「働き隊」を結成。県のモデル事業として実施
平成30年9月	「児童見守り隊」を実施。子供の安全を守る活動を実施
令和元年9月	川勝県知事訪問・意見交換会の実施 ウクレレ漫談 ぴろき 認知症の方とその家族の為の会（第2弾）実施
令和元年11月	「静岡県優良介護事業所」知事表彰を頂く。
令和2年3月	コロナ渦、伝説の「公園で講演」を強行開催する。

通所介護・ボランティア活動の実践

- ▶ **通所介護事業**（定員19名・総合事業2名）
早朝迎え、夕食後送りでもボランティアで対応
病院までの送迎、買い物代行も無償で対応
夕食（配食）の補助活動
- ▶ **ボランティア活動**
難病患者の外出支援、保育園の慰問、小学校等への講演
引きこもり・不良児童への支援、車椅子等の無料貸与
車椅子車輛の貸し出し、運転代行ボランティア
- ▶ **地域貢献活動**
「働き隊」掃除、草取りなど仕事を請け負い稼ぐ活動。
「見守り隊」・・・勝間田小学校の下校時を見守る活動。
「認知症の方とその家族の為の会」・・・認知症の方や家族、
関係者を対象に、年2回、催しを企画し、社会参加を促す
機会の提供、日頃の疲れの発散、癒す場を提供している。



美味しい食事が 自慢！

ちょっと面倒でも、竈でご飯を炊き、みんなで食べる。これがまた、ウマイ！



囲炉裏、井戸水も大切に に使っています。

- ▶ 井戸水を大切に再利用しています。
- ▶ 囲炉裏を囲んで一杯やることも。純米酒あります！
- ▶ 魚屋さんと提携して、旬のお刺身を随時提供しています。
- ▶ 目の前の畑も貸してくれ、これからは無農薬栽培にもチャレンジ。

狭い家だからこそ、外へ楽しみを求める！



働き隊

- ▶ 平成30年5月結成
- ▶ 登録利用者8名
(男性6人、女性2名)
- ▶ 火、木、金、日の午前中
- ▶ 草取り、ゴミ屋敷の掃除、
店内の掃除など

俺達、働き隊!

認知症を見守る?
いや、俺達は
もっと外へ、もっと社会へ
働く、そして稼ぐ!

朝、迎えに行くと、「なんだ、珍しいじゃんか。今日も現場に行くた?」
初めて会うよっちゃんは、笑顔で俺にそう言った。
「ああ、行こうか!」。でも着いた場所はテイサービス。ジャージの裾を膝下に入れたよっちゃん
頼まれたら断れない日本男給、いつも黙々と外で空き缶を潰す作業をしていた。
俺は何度もそんな詐欺師のようなことをして、ここまで歩んできた。
でも、もうそんなことはしたくない。
たとえ忘れる病気であったとしても、「働きたい」という意欲も能力もある人は必ずいる。
新立ったあの人の横を胸に、今日もよっちゃん履きで頑張るよ。「男は仕事だ」。
俺達は、そんな古臭い人達と共に歩いていく。一汗わった後の「一杯の酒に!」
憩の家みち 代表 石津道弘

憩の家みち 【通所介護事務所・ボランティア活動】
〒421-0406 静岡県豊田市原町118-3-2

お悩み事がありましたら何でもお気軽にご相談ください。
TEL/FAX 0548-28-0223 e-mail 090-6467-2426
Mail kizuna222@gaea.ocn.ne.jp
http://www.michi222.jp/ 憩の家みち

「もっと外へ、もっと社会へ、働く、稼ぐ、そして飲む」

利用料金 30分 500円

(活動内容、参加人数に限らず一律この値段)

作業時間 1時間～2時間

活動内容 草取り、草や枝の回収、遺品整理、お茶刈り、レタスの収穫
ゴミ屋敷の掃除、遺品整理、店内の掃除など

依頼者様 牧之原市、菊川市、掛川市、藤枝市、島田市の個人様
ファミリーマート様 富士見霊苑様
司法書士法人みらいふ様



平成30年5月からの累計売上 30万円を突破！

隊員へ月額 300円～3000円程度の謝礼金を渡しています！

また、それ以上に、多くの差し入れを頂く。その気持ち嬉しい！

働き隊は、草取り、掃除、遺品の整理まで何でも屋です。



働いて・・・稼いだら・・・とりあえず、飲む！

デメリット（ちょっと大変なことといえば・・・）

・ 事前調査、料金回収など業務量が増えてしまい、スタッフの確保が難しい。

・ どんな仕事内容か、誰が何をどこまでできるかの判断が難しい。

・ 危険な場所の作業もあり、徘徊のある方もいるのでリスクが増える。

・ 各自の傷害保険、作業代、工具代、処分代など、費用負担が増える。

・ 汗をかいて、皆で飲みに行く機会が増え、肝機能が高くなる。

・ 人相が悪いので、「こいつ認知症の方を利用して」と誤解されてしまう。



でも、そんな小さいことなんてどうでもいい！

働き隊の成果！

- ★ 利用者が主体的に活動することで、認知機能・心身機能向上を促し、ADLの維持改善に繋がった。
- ★ 地域社会との交流の場が増え、「働ける」という認知症に対する理解を得られた。
- ★ 高齢で農作業が困っている方、独居で掃除ができない方など、社会問題を解決できた。
- ★ スタッフも、介護だけに縛られることがなく、逆に草取りを行うことで、気分転換が出来た。
- ★ 同じ現場で、同じ作業をして、汗びっしょりになる。戻れば忘れていたけれど、私達が証人となって語り続ける。その価値は無限だ。

自分達の働きにより、少しずつ理解してくれるようになった。
周りが暖かく「別にいいよ」と認めてくれるようになった。



児童見守り隊

小学校の下校時の見守りを行い、認知症の方でも、活躍の場を頂いています。



認知症の人の方が危ない時もある。でも、横断歩道で立っただけで、車は徐行してくれ、子供達も安心してくれる。

共生型・居場所 の取り組み

昔から、子供と一緒に過ごしてきました。
それが普通だったし、自然の空間でした。



共生型、富山型すら、知らなかった。興味がなかった。

難病患者さんの 外出支援活動

様々なボランティア活動を通して、多くの方と触れ合うことができました。



Mさんとの出会いが、さらに人の輪を広げてくれた。

社会貢献活動

地域福祉の為に、自分達ができることをコツコツと行う。





認知症の方とその家族の為の会

認知症の方が、もっと外へ出る催し物を企画、運営していきます。



どうせ忘れるなら、笑って忘れちゃおう！



どうせ忘れるなら、呑んで忘れちゃおう！

Tポイントが貯
まる！使える！

県内介護業界初！家族から大好評！



T-POINT
使貯ま

この格好で銀行に行ったら、担当者から羽交い絞めで「洒落になってないから」と締め出された！

周囲の冷ややかな、眼差しを受けながら



チクビマン
(命名者
勝間田小学校5年生)

新たな、正義のヒーローが誕生した！



中学生、高校生へ

笑われてなんぼ。福祉に興味を持って
くれるために、身体を張っています！



地元小学校の総合学習の委員として活動しています。

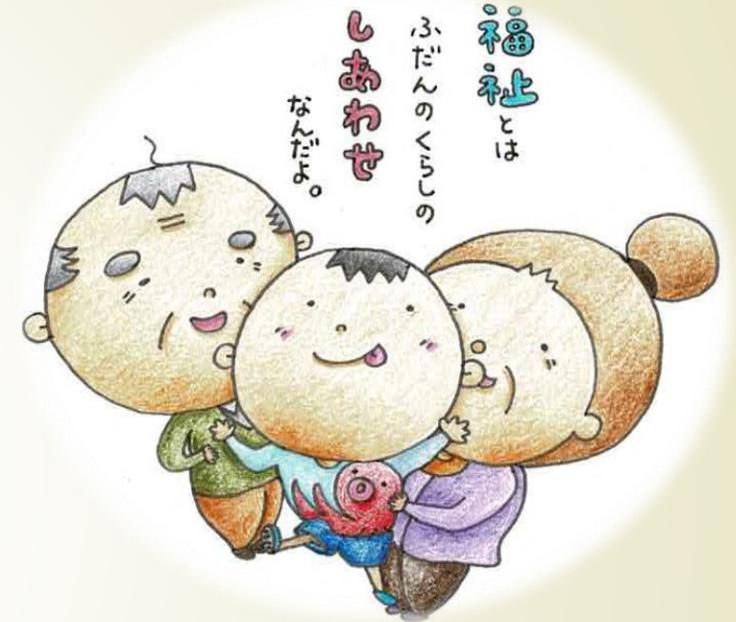


小学生の福祉教育

自然に子供達と出会っていたら、自然と次のステップが見えてきた。



次の目標、子供達に福祉の意味を知って欲しい。



- ▶ 当たり前に出てくる事は、実は本当に有難い事なんだよ。だから、常に、家族、友達、先生、そして、自由があることに感謝しよう。
- ▶ これまでの経験から、今は特に家族愛が希薄化している。先人達を敬う思い脆弱化している。子供のうちから、福祉の意味を考えるべき。

親父の背中を見るな！

長男の入学式で叫んで出入禁止。仕方なく、授業中に拡声器持って、外から応援に行く。

次男の入学式。母子3人が出席反対表明の中、内緒でチョウラン、ボンタンで乱入。校長、教頭に筋を通す。

まあ、もう、それ以降、学校へは行ってない（笑）。

ただ、男は、滅多なことで子供の教育に口をはさむもんじゃない。ビデオカメラ片手に子供の成長を見守るアホな奴が多い。昭和の男は、ドンと構えて、何かあったら俺の所へ来い、それで充分。

男は熱く生きろ、そして、楽しく生きろ。たった一度の人生、後悔ないように生きろ。生きて生きて生きまくれ！それが信念！

でも、「パパは学校には来ないで！」と言われた時はマジで落ち込んだ（笑）。



そりゃ・・・辛いこともあったけど・・・。

笑われたことも、たくさんあったけど・・・。



少しずつだけど、理解してくれる人も増えてくれました。

牧之原市社会福祉功労事業所表彰を頂きました。
杉本基久雄市長は、いつも応援してくれています。

牧之原市総合計画審議員になりました。



「石津。頑張れよ！」その言葉にどれだけ励まされたことが・・・。

牧之原市内デイサービス事業所 新型コロナウイルス感染症対策

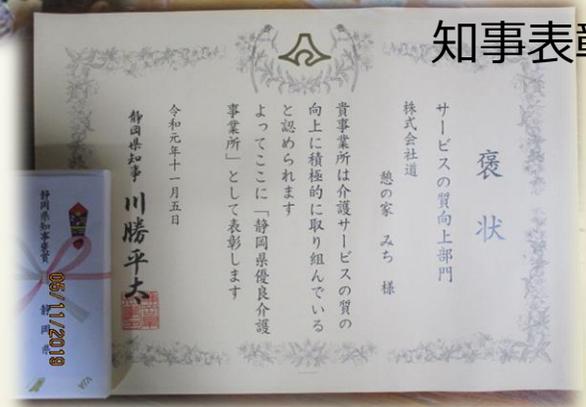
「共同宣言」

私たち牧之原市内のデイサービス事業所は、「通所介護は、感染拡大のリスクが高い」ことを理解した上で、利用者の生命を守るため、一丸となって、新型コロナウイルスを持ち込まない、拡げない努力をします。

「行動指針」

1. 私たちは、利用者の感染防止を第一に考えながらサービスを提供していますが、業務の性質上、3密は避けられません。それでも、できるだけ3密を減らす努力をし、マスク着用を含む咳エチケット、手洗い、消毒等を徹底します。
1. 私たちは、利用者や家族に対して、サービスの継続に理解を得るとともに、感染症を持ち込まないため、利用者家族の県境をまたぐ移動状況などの聞きとりに協力を依頼し、ときには利用をお断りする場合がありますことをご説明します。
1. 私たちは、行政と医療機関と常に連携を取り、有事のときは共通理解のもと、できるだけ事業所間の連携・協力体制をつくり、スタッフが安心して業務に就ける努力をします

静岡県知事、川勝平太様が訪問。知事表彰を授与！



よそ者だった俺達。でも、「みっちゃん。頑張ってるね！」と言ってくれた時は泣けた。

福祉人は、絶対に主役になってはいけない。

俺達は常に脇役であるべきだ。

認知症の方、身体の不自由な方、困っている方

お爺ちゃんやお婆ちゃん、そして子供達が主役なんだ。

俺達の役目は、その人達をいかに輝かせることができるか。

苦しんでいる方々を、いかに救うことができるかだけだ。

いかに謙虚に、いかに控えめに！これが俺達の正義だ！

正義のヒーロー、ウルトラマンも、実は主役じゃない。脇役なんだ。あくまで主役は困っている住民であり、それを助ける為だけに存在している。そして、役目が終わったら、何事もなかったかのように、サッと故郷へ帰る。そして、遠い国から、皆の幸せを眺めて喜んでいる。負けそうになっても、弱いところを見せても、絶対に逃げることはない。諦めずに、身体を張って、最期まで闘い続ける。それが福祉人と一緒なんだ。



本当に素晴らしい方々と出会えました。感謝です！



勉強嫌いな俺、この世界の著名人を知らなかった。興味もなかった。でも、最近、覚えました（笑）。

初めて高橋局長と出会い、ボロクソに怒られた。めちゃくちゃ頭にきた！
でも、あの時、こんな俺を真剣に怒ってくれたからこそ、
自分に足りない物、そして、何をすべきかを気付かせてくれた。
今でも、誰よりも怖い存在だけど、誰よりも尊敬できる師匠である。
初めて怒ってくれた人は、こんな俺達を、初めて認めてくれた人だった（涙）！



駅という公衆の面前での土下座の瞬間

お蔭様で素晴らしい賞をもらいました。



この人が一番怖い！ヤクザより怖い！

私達の目指すべき道

- ▶ 小さなデイサービスだからこそ、地域、行政とタッグを組んで、大きな福祉を目指します。
- ▶ 働ける方は外に出て稼いでもらう、社会の役に立てることを証明してもらおう。そして、地域の方、子供達が応援してくれ、皆が一緒に輝ける地域福祉を目指します。
- ▶ 利用者のお宅に掃除に出向く、庭の草取りもする、亡くなったら遺品の整理もする、お墓の掃除に出向き、花々を植える。つまり、私達の関係は、未来永劫、長く続いていきます。それは、新たなデイサービスの可能性・将来性を見出します。
- ▶ 動けなくなったら、私達がもう一つの家族として、最期まで面倒を見る。「困った時はお互い様」、高齢者や障害者、子供の壁を壊し、共に生き、共に支え合う空間を通して、「するされる」の関係ではない、福祉活動の原点を目指します。

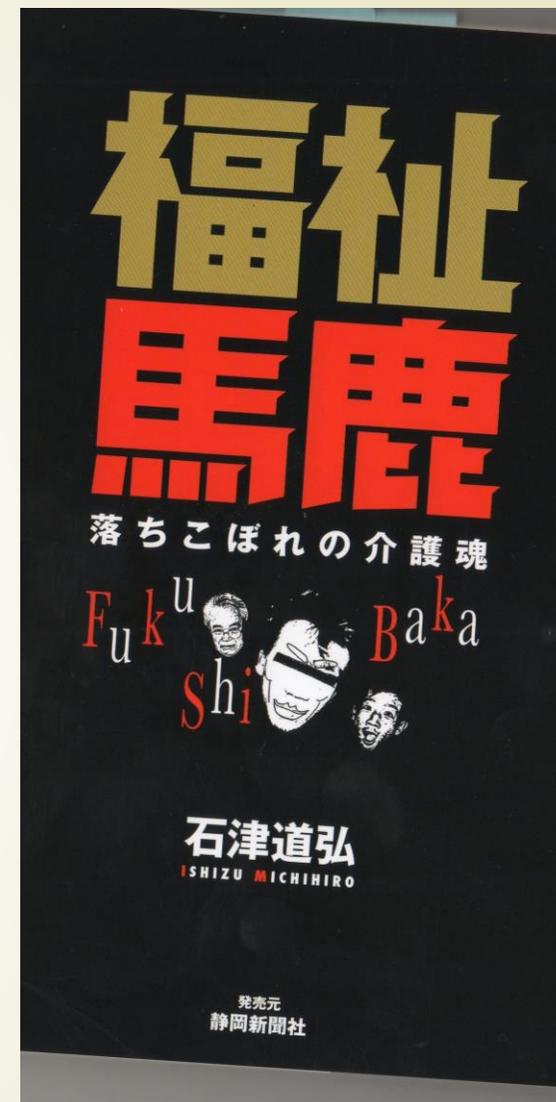
**福祉とは「安心」。だから、家族が必要であり、仲間が必要なんだ。
そこに、自分達の居場所がある。活躍できる舞台（ステージ）がある。
私達は、それを創造する「ふじのくに型デイサービス」を目指します！**

福祉とは何か？

- ▶ 親不孝ばかりしてきた、友を裏切ってきた、自分さえよければよかった。でも、福祉がこの俺を救ってくれた。次は、俺がこの福祉へ恩返しする番だ。
- ▶ 「我慢の中で生きている人」「我慢の中で支える家族」「我慢の中でこの世を去った方々」を目の当たりにしてきた。そこで、俺達にできることは何かを考える。
- ▶ だからこそ、常に「誰の為、何の為」にやるのかを自問自答しながら、福祉の道を歩み続ける。信念を貫く。これぞツツパリだ！

福祉道

Fukushidou



静岡新聞社より発行

あなたを見捨てない

「私が生んだ子だから仕方がないねえ・・・」
病院のベッドで横たわる俺を見ておふくろがつぶやいた。
散々、泣かし続けてきたのに、決して見捨てることなく、
マリア様のように、いつも傍にいて、優しく包んでくれた。
でも、それに気づくのが遅すぎて、たくさん遠回りした。
嘘っぱちの権力に憧れ、夢や希望のない毎日、
長い間横道にそれて生きてきた。
そして、ようやくたどり着いたところが「福祉」だった。
そこで初めて、俺は自分の愚かさ、命の儚さを知り、
生ある瞬間の意義と、人の為に生きる素晴らしさを学んだ。

だから、もう一度やり直してみるよ。
親子がいがみ合い、仲間が罵り合う、
こんなクソツタレの世の中で、
もう一度、やり直してみるよ。

「私はあなたを絶対に見捨てない」
その教えを、この福祉の道で実践してみるよ。
人生の道において、やがて終わりが訪れる。
だから、その時まで、この道に賭けてみるよ。
「いい子になったね」
いつかそう褒めてもらえるように・・・。

ご清聴、ありがとうございました！
「お〜い。寝るなよお〜！」



「石津道弘」で検索

コロナが逃げるサービスショット！

「お〜い。引くなよ〜！」